「第１９回奥の細道サッカーフェスティバル」御礼

２０２０年９月２０日（日）～２１日（月）、コロナ禍の中ではありましたが２日間にわたって開催させて頂きました１９回目のフェスティバルが無事終了しました。（本来であれば２０回目となるのですが、２０１１年は東日本大震災の影響で中止となりました。）これもひとえにたくさんたくさんたくさんの皆様のおかげ！心よりそう思うと共に心の底から感謝の気持ちでいっぱいです。そんな皆様に簡単ではありますが、感謝の意を記したいと思います。

まずは、毎日毎日週間天気予報と睨めっこしても降水確率７０％が下がることがなかったにも関わらず、蓋を開けて！？みたら、２日間共にスポーツの秋にふさわしい清々しい秋晴れとなりました。まさに奇蹟！！！　天の神様に感謝感謝！そして皆様の日頃の行いの善さに感謝感謝！！

ありがとうございました！

次に、今フェスティバルの趣旨をご理解頂き、遠くは山形県・宮城県より、そして福島県内各地よりご参集頂きました各参加チームの皆様に心より感謝申し上げます。本来であれば毎年７月末に開催していたフェスティバルでしたが、コロナの影響で２ヶ月延期にし実施しました。それにも関わらず常連！？チームの皆様は日程を調整し参加して下さいました。また、新規の方々もフェスティバルの趣旨をご理解頂き多数参加して下さいました。それら全てのチームの皆様が様々なコロナ感染防止対策を講じたにも関わらず、どれひとつとして抜かりなくご協力下さったこと、本当に本当に有難い気持ちでいっぱいです。
また、陸上競技場で開催のＵ-１２の部参加チームの保護者の方々には感染防止の観点から行動範囲を応援席のみに限定させて頂き、大変不自由な思いをさせてしまいましたが、どのチームの保護者等々の方々もその趣旨をご理解頂き遵守して下さいました。
参加全チームの子供たち・指導者の方々・保護者の皆様、全ての皆様に心より感謝申し上げます。

ありがとうございました！

次に、この奥の細道には絶対に欠かせない人、世界のリフティング王こと土屋健二氏！今年もお忙しい身にも関わらず、「奥の細道には何が何でも行きます！」と即答で快諾下さり来場して下さいました。本来であれば、開会式の中で参加全選手の目の前で華麗なデモンストレーションをして頂くのですが、今回はコロナ禍のため、三密を避けるためその場を設けることが出来ませんでした。その代わり、２日間にわたって会場内のあちこちで汗だくだくになりながらプチサッカー教室をたくさん開催して頂きました。土屋さんの名前を知らなかった「初めまして！」の子供たちも、その妙技に酔いしれ、すぐに土屋さんの虜！？になってしまう場面を多数目にし、嬉しく思うと共に、改めて感謝の気持ちでいっぱいになりました。

ありがとうございました！

次に、クラブ主催の大会と言うことで、本来ならクラブ保護者の皆様には運営等々絶大なるご協力を頂いていたのですが、今回はコロナ禍での開催と言うことで、フェスティバル開催前に、「たくさんの人が密集等することを回避するため、今回は保護者の方々のお手伝いは一切いりません！」と宣言させて頂きました。にも関わらず、てんてこ舞いするスタッフを見かねて、三密を避ける方策を講じながら、結局のところは、２日間にわたって並々ならないご尽力を頂くことになってしまいました。大変申し訳ございません！と思いながらも、大変大変大変助かりました！！　『感謝】この言葉では言い尽くせないほどの思いでいっぱいです。皆様のお力添えがなければ、フェスティバルを無事開催することも出来なかったし、スタッフは途中で崩壊！？していました。（大苦笑）
すみません、そして

ありがとうございました！

と共に、前述したように今回は当初は保護者の皆様の力を借りずに・・・だったので、たくさんのクラブＯＢ・ＯＧ・スタッフが会場に駆け付け、何から何までこなしにこなしまくってくれました。あの頃子供だった君たちが、長年の年月を経て大きく大きく成長し、これほどまでに迅速に行動する姿に大きな感銘を受けると共に、心底感謝の気持ちでいっぱいになりました。持つべき者は友！ならぬ持つべき者は教え子たち！！

ありがとうございました！

上述させて頂きました全ての皆様のおかげで、当初は「今年は開催出来ないかも・・・」そう思っていたフェスティバルを開催し無事終了することが出来ました。改めて皆様に声を大にして感謝の意を申し述べたいと思います。

ありがとうございました！！！

最後になりますが、コロナの影響はまだまだ現在進行形です。一日も早く収束し、一日も早く以前のような平穏で平和な日々が訪れ、２１世紀の日本の未来を担う子供たちが、大好きなサッカーに心置きなく興じることができ、サッカーやその他様々な活動をを通して心身共に健やかに豊かにたくましく成長出来ることを心の底から願うばかりです。
そんな日が来ることを願い信じ、ＷＩＴＨコロナのもと、感染防止対策を今後も徹底遂行し様々な活動をして行こうと思っています。

第２０回大会を来年夏に開催出来ることを願い、簡単ではありますが御礼とさせて頂きます。

主催者より